



# 鶴舞ハート便り

発行元：千葉県循環器病センター 地域医療連携室（直）0436-50-6501 F A X 0436-50-6503  
 〒290-0512 千葉県市原市鶴舞575 0436-88-3111(代表) F A X 0436-88-3032  
 U R L <http://www.pref.chiba.lg.jp/byouin/junkan/index.html>

## 循環器病センター5つの運営指標

良質で模範的な医療の提供を目指します。  
 温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。  
 常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。  
 近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。  
 透明性の有る医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。

## 病院ボランティア？ ごぞんじですか？

### 病院ボランティア

循環器病センターでは、入院中の患者さん・外来受診患者さんが安心して診療を受けられるよう、患者さんを支援するボランティア活動が行われています。受診に関して困っている事・分らない事などお気軽に声をかけてください。ボランティアは緑のエプロンが目印です、皆さんからの声かけをお待ちしています。



ボランティアスタッフ一同



ボランティアがお手入れをしている花壇

病院ボランティアは、センターを気持ちよく利用していただくため、患者サポート部門・環境整備部門・センター内行事部門に分かれて、センター職員と協力し、無償で自発的にサービスを提供する活動を行っています。医療専門職でなくても患者さんのために出来ることがあります。正面玄関の花壇、中庭もボランティアがお手入れをしています。皆さんどうぞご鑑賞ください。

### ～花時計～

現在センター職員と病院ボランティアで花時計を作っています。中心のマークは何に見えますか？完成まで今しばらくお待ちください！



| 目次   |   |
|--|---|
| 病院ボランティア   | 1 |
| ボランティア インタビュー  | 2 |
| 病院のなぜなぜ<br>ご参加ありがとうございました<br>ギャラリー二つ返事<br>予約患者さんへのお知らせ | 3 |
| ガンマナイフ治療5000例記念<br>インタビュー 永野医長                         | 4 |

## ひまわり咲きました！

砂利敷きの駐車場脇の小さなひまわり畑をご覧になっていただけましたか？プレハブ跡地を職員が開墾し、8種類のひまわりの種を植えました。よく見かける黄色のほか、赤やオレンジ色の花が咲きました。タネはご自由にお持ちください。（お辞儀した花が採り時です）次はどんな植物が顔を出すのかお楽しみに



～鶴舞ハート文庫はじめました！  
 外来受診での待ち時間を持て余していませんか？そんな時は鶴舞ハート文庫をご利用下さい。1階A-1診察受付の隣りにございます。入院患者さんもご利用下さい。



# 出来る事からでいいんです！ あなたも一緒に始めませんか？



私たちが身近な安心をお届けします。緑のエプロンを探してね！！

## 患者サポート部門 山口さん

外来患者さんの受診をお手伝いさせていただいています。押し付けではないボランティア、患者さんに必要とされるボランティアを目指しています。お気軽にお声をかけてください。



## 患者サポート部門 永野さん

外来患者さんの受診のお手伝いをさせていただいています。少しずつですが、ボランティアが患者さんの間で知っていただけるようになってきたと感じています。



## 患者サポート部門 北さん

入院患者さんのお散歩などをお手伝いさせていただいています。患者さんが日頃、何を思っているのかを聞いていきたいという想いでボランティアを行っています。



## 環境整備部門 山内さん

センターの花壇をお手入れさせていただいています。直接患者さんに関する事は少ないのですが、見かけましたらお声をかけてください。



## 環境整備部門 黒須さん

ガンマ棟の中庭を担当させていただいています。患者さんから「中庭の花壇が綺麗ですね」とおっしゃっていただいているとスタッフを通じて知りました。ありがとうございます。



## 患者サポート部門 志村さん

当センター看護師としても勤務経験がありますので、今後は入院患者さんとも関わる活動をしていきたいと考えています。活動を通して、私自身も元気を頂いております。ボランティアに参加することによって患者さんと同じ目線で物事が見れる、自分自身の視点が広がった事を感じています。



## 患者サポート部門 柴山さん

病棟で入院患者さんとそのご家族を対象にビーズ教室を行っております。



## ボランティア募集中！！ ~あなたの優しい心で患者さんをサポートしてみませんか？~

月曜日から金曜日までの午前8時半～午後5時までの間で都合の良い時間に活動をしていただいています。参加していただいているボランティアの皆さんの安全をお守りするため、ボランティア保険に加入していただいています。15歳以上の方で興味のある方・参加希望の方、事務局の佐々木まで、お気軽にお問い合わせ下さい。詳しい資料は、センター1階総合案内に置いてあるほか、HPからもご覧いただけます。



インタビューを終えて・・・

「ボランティアを行うことで、元気になれる！」とボランティアの皆さん。爽やかな風に心を洗われた気がしました。センター正面入り口やガンマ棟の中庭では綺麗な花壇を見ることが出来ます、和んでみてはいかがでしょうか？



## 停電が起きると...

患者さんの情報がはいった電子カルテや、検査に必要なMRIやCT、手術に必要な麻酔器などが停電で使えなくなってしまうと診療に深刻な影響を与えます。また、人工呼吸器などの生命維持装置が止まってしまうと患者さんの生死に係わります。そこで、病院では、特に停電対策に力をいれています。

## センターの停電対策

当センターは東京電力から送られる2つの電気回線を持っています。これは落雷などで1つの回線が途絶えても、別の回線で電気を受電するためです。



自家発電装置

では、2つとも途絶えてしまったら！センターでは、これに備えて、灯油で動くことができる自家発電装置を設置しています。2本の回線が駄目になると自動で自家発電に切り替わり、回線が復旧するまでの間働いてくれます。また、回線 自家発電の切り替え時に起きてしまう30秒の停電状態に対しては、無停電装置 (UPS = バッテリーのようなもの) を使用してほんのわずかの停電も防いでいます。また、停電になると深刻な影響がある手術室・ICU・



UPS

CCU・SCUなどには優先的に供給できるように、回線を作っています。

## あわや大惨事!

自家発電のトラブルで停電時に電気を供給できないという事態が平成14年に起きました。この際には、本来少ししか使用することを想定していなかったUPSを55分も使用し、何とか大惨事を免れました。当時を知る、制御室(センターの電気・空調などを管理している部門)の内田所長は「照明がだんだん暗くなり、薄暗い中で必死に復旧作業をした。本当に真っ青になった。」と語っています。このような事態を避けるため、年に1回の電気設備法定点検や、毎月自家発電の試運転を行い万全に備えています。近年局地的なゲリラ豪雨が起きていますが、今日も、当センターの地下では制御室のスタッフが患者さんの安全を守っています!



制御室スタッフ

## ~みなさまのご参加ありがとうございました~

### 市民公開講座 6月13日(土)

今回は不整脈の一種である「心房細動」と循環器の薬の飲み方について講演をしました。動画で紹介される不整脈が起きるメカニズムや、循環器の薬(特にワーファリン)の飲み方の注意に会場からは驚きの声があがりました。

次回の市民公開講座は、平成22年1月16日(土)に、脳卒中をテーマに開催予定です。(申し込み受付は12月中旬を予定)



## ギャラリー 二つ返事

9月 押し花サークル花物語(押し花)

10月 鶴舞楽写クラブ(写真展)

11月 堀 眞澄(織物)

2階のギャラリーでは毎月様々な展示を行っています。ぜひお立ち寄りください。



## 予約患者さんへのお知らせ

### ~予約患者受付機の受付順番について~

8月から、受付開始時間よりも早く来られた方には、来院順に椅子に座っていただくこととなりました。8時30分になりましたら、その順番で受付をしていただくこととなります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



## ガンナイフ診療部 永野 修 医長

### 5000例の重み

センターとして5000例を積み上げてきたということはとても素晴らしいことだと思います。このうち私が直接治療した患者さんは500例ほどですが、この記念に立ち会えることが出来て本当にうれしく思います。5000例の実績の重みを感じ、さらに良い治療をしていきたいと考えています。

### ガンナイフとの出会い

6年前に当センターに勤務した際に、前任の芹澤先生からガンナイフ治療のことを教えていただきました。病状によっては手術よりも高い治療効果が期待できることや、合併症が少ないということに興味を覚えました。

### チーム医療

ガンナイフはチーム医療です。医師・放射線技師・看護師・医療事務が一緒になって患者さんに関わります。安心して患者さんが入院・治療できるように丁寧な対応をしています。また、連日スタッフミーティングを開き、スタッフ間のコミュニケーションが円滑にいくように心がけています。

### ガンナイフ治療の難しさ

脳腫瘍の患者さんでは残念ながら再発することが時にあります。脳は何回でも照射できるわけではなく限度がありますので、その際にはガンナイフ治療を再度行うか慎重に検討します。再発時には放射線治療が無効だったのではないかと、手術

が必要なのではないか、また再度ガンナイフ治療を実施して効果があるのかなど、治療選択の判断が難しいことがあります。

### 中庭から元気をあげたい！

以前に患者さんが「芽を出し、大きくなって花を咲かす植物を見ているとその生命力に驚かされます。その姿を見ると私もがんばろうと前向きな気持ちになります。」と私に話してくれたのがきっかけで、中庭に花を植えようと思いました。この患者さんのように、庭を見て少しでも治療に前向きに、そして心が和んでいただけるようにと考えています。今では診療部のスタッフや、病院ボランティアさんが一緒になって庭作りをしてくれてとてもうれしく思います。

10000例目指してがんばります！



ガンナイフ診療部スタッフ

### こんなところで診療します。



診療室・待合【売店奥】

ゆったりとした音楽が流れています。



受付窓口

ボランティアさんからいただいたヤツガシラの水鉢が患者さんを出迎えます。



診療室内

患者さんやご家族の不安を取り除くため、丁寧に治療の説明を行います。



中待合

治療前後にゆっくり休んでいただくため、患者さんにご家族の個室があります。

### ガンナイフ治療とは？

ガンナイフは頭部専用の放射線治療機器です。脳腫瘍や三叉神経痛などの患者さんを治療しています。病気が存在する部分だけに放射線を集中してあてる仕組みのため、健康な部分を傷つけにくい安全な治療です。当センターでは2泊3日で治療を行いますので、体への負担も少なく、全身麻酔の手術が難しい方や高齢者でも治療ができます。



### ガンナイフ装置・照射

患者さんが安心して治療を受けられるように、竹林の壁紙を使用しています。

